

白山 ガイドブック

白山のこと
知っていますか？

HAKUSAN



一般財団法人 白山観光協会

白山観光協会は、貴重な自然とともに信仰しんこうの場として歴史ある白山を、多くの人々に活用してもらおうことを目的に、1948年(昭和23)に白山比咩しらやまひめ神社社内に設立されました。人々が安全かつ快適じゅうじつに白山へ登ることができるよう、設備の充実を図るとともに、白山を中心とする文化活動なども行っています。

この「白山ガイドブッカー白山のこと知っていますか?」は、これからを担う皆さんに、白山のすばらしさを知ってもらい、実際に白山に登り、その感動を味わっていただきたいと願って制作しました。

発行 一般財団法人 白山観光協会

〒920-2114 石川県白山市三宮町二 105-1
☎ (076) 273-1001 (白山室堂予約センター)

制作協力(写真・資料提供他)

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所
石川県環境部自然環境課
石川県白山自然保護センター
白山比咩神社

写真協力/林 正一・梶 典雅・富沢 章
詩丘武司・曾我隆行・森 勝彦
制作/株式会社 橋本確文堂

2014年3月31日発行



白山シンボルマーク

クリーン白山

白山ではゴミの持ち帰り運動じっしを実施しています。
ご協力をお願いします。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C007925



白山国立公園





〈平成11年10月24日撮影〉

●提供/国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所



白山は奈良や平安の よく知られていたの

富士山、立山と並び、「日本の三名山」に名を連ねる白山は、奈良・平安時代、都人から「越のしらやま」「越のしらね」と呼ばれ、親しまれていました。北陸はかつて「越の国」であり、そこにそびえる白き山という意味です。この言葉は枕詞として和歌に用いられ、たとえば平安時代の女流歌人・和泉式部は次のような和歌を詠んでいます。

**もみぢ葉もましろに霜のおける朝は
越のしらねぞ思ひやらるる**

霜の白さから白山を想起こした、という歌です。

また、清少納言の随筆「枕草子」には「宮中にできた雪山が消えないように白山の観音に祈る」という意味の記述があります。



白山市安吉町から見た白山

昔から、都人にも は、なぜだろう？

高い山が付近にない都人にとって、比叡山ひえいざんのさらに北東に位置し、初夏まで優雅に雪をいただく白山はあこがれの山でした。

世界には、「白い山」を意味するヨーロッパのモンブランやヒマラヤのダウラギリ、アフリカのキリマンジャロそして「雪を頂いた山」かがやを意味するアメリカのシェラ・ネバダと同様、雪が輝く白い山はどの国、どの民族でもあこがれの対象だったのです。

● 「シラヤマ」と「ハクサン」

万葉集の時代は「之良夜麻(シラヤマ)」と詠まれ、山の名前も本来はシラヤマでしたが、江戸時代の寛文年間(1661~1673年)以降は「ハクサン」と音読みし、現在では白山比咩神社しらやまひめの呼び名や地名の一部にのみシラヤマと呼ぶ習慣が残っています。

白山に積雪が多いのはなぜ？



一年の大半を通して雪をいただく姿を眺められる白山。山頂の標高は2,702mで、本州には富士山をはじめ3,000mを超える山がたくさんあるにもかかわらず、そのほとんどが白山より積雪量が少ないのです。

それは白山が日本海に近いところに位置していることが大きな要因となっています。冬、西高東低の気圧配置によって大陸で発生した冷たい季節風は、日本海をわたるとき、冬でも暖かい対馬海流の上空で熱と水蒸気をたっぷり含み、上昇気流を発生しながら日本列島に向かいます。この季節風は、まともに白山にぶつかることでさらに上昇し、そして、水分のほとんどが上空で冷やされ氷結し、白山に大量の雪を降らせます。白山室堂(2,450m)付近での積雪は7～8mといわれています。

エリアと標高

1962年(昭和37)に指定された白山国立公園は、白山の主峰、御前峰を中心とする面積49,900haの山岳自然公園で、石川県、富山県、岐阜県、福井県の4県にまたがり、2,000m級の山々が続い



ています。白山の山頂部は、最高峰の御前峰（標高2,702m）をはじめ、おおなんじがみね大汝峰（標高2,684m）、けんがみね剣ヶ峰（標高2,677m）などから成り立っており、白山という場合、この山頂部を中心とした全体をさすのが一般的ですが、さらに広い山系全体をさす場合もあります。



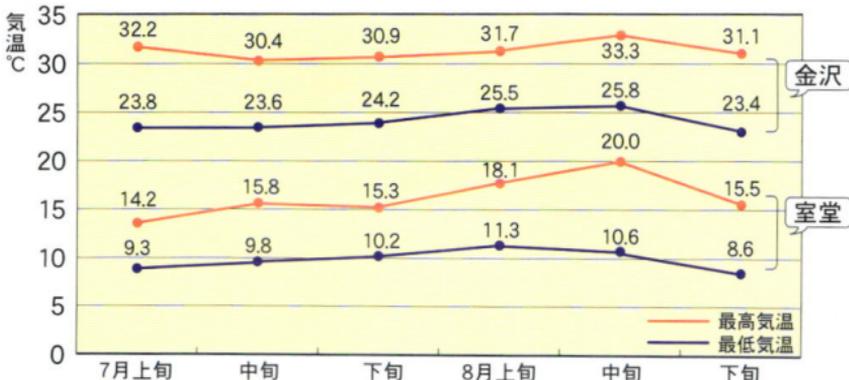
加賀市から見た白山

気 温

冬季間、白山山頂付近ではいったいどのくらいの気温になるのでしょうか。正確な計測方法ではありませんが、石川県白山自然保護センターが室堂白山荘（標高2,450m）の屋根付近（地上7.5m）で、2011年（平成23）に行った調査では年平均温度はマイナス0.2℃、最低温度は1月16日のマイナス20.9℃、最高温度は7月20日の19.7℃でした。冬の寒さは大変きび厳しいのですが、夏は涼しく夜間や木陰に入ると寒いくらいで、平地とは別世界といえます。

また、登山シーズン中（7月、8月）の室堂の気温は、金沢に比べて15℃前後低い気温となっています。

室堂と金沢の最高・最低気温 2013年7月1日～8月31日まで（気温の数値は期間の平均値）



資料提供／（一財）日本気象協会北陸支店（室堂の気温）・金沢地方気象台（金沢の気温）

白山はなぜ信仰の対象と なったのだろうか？

あらゆる自然現象への恐れと敬意から、いにしえの人々に
とって白山は、神としての象徴的な存在だったと考えられます。
稲作が盛んになると、稲作に不可欠な水の源である白山は、水
を司る神として崇められるようになりました。また、白山は海
上から見る指標として、航海と漁業の守護神でもあったのです。
やがて密教や自然崇拜などが統合した修験道が盛んになると白山
をとりまく加賀(石川)・越前(福井)・美濃(岐阜)の各地に
白山信仰の拠点が造られ、そこから山頂へ登拝するための道で
ある「禅定道」が開かれました(これらは、それぞれ加賀禅定道・
越前禅定道・美濃禅定道と呼ばれ、一部は現在でも使われてい
ます)。修行僧や登拝者はここから白山頂上を目指しました。

このころ、白山の御前峰、大汝峰、別山の山頂にはそれぞれ、
十一面観音、阿弥陀如来、聖観音が祀られるようになり、神は
仏の仮の姿であるという本地垂迹説の考え方が広まりました。
その後、1868年(慶応4)の神仏習合の廃止によって、「加賀一
の宮」として尊崇され、「シラヤマさん」と親しまれた白山本
宮は白山比咩神社に名称を改め、白山比咩大神・伊弉諾神・
伊弉冉神を御祭神とし、全国に約3,000社ある白山神社の総本
宮として白山信仰の中心を担っています。

※白山へ登ることを昔から「登拝する」といいます



御前峰山頂の白山比咩神社奥宮



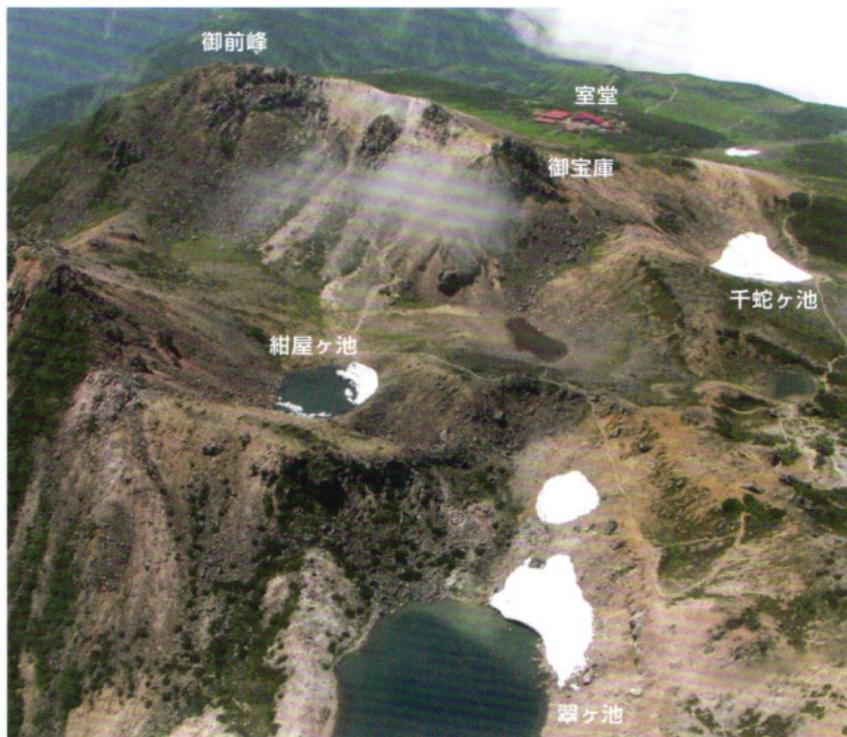
白山年表

717	養老元	越前の僧泰澄 <small>たいしょうたいし</small> が白山を開山したと伝わる
832	天長9	加賀・越前・美濃の三馬場が開かれた
995頃	長徳元頃	花山法皇、白山登山
1042	長久3	白山噴火、翠ヶ池 <small>ふんか みどりが いけ</small> できる
1554	天文20	白山噴火、1556年ごろまで続く
1580	天正8	織田信長が白山奥宮 <small>おくぐう</small> を造営
1599	慶長4	白山奥宮社殿 <small>しゃでん</small> を造営
1600頃		徳川家康の特使が毎年白山登山を行う
1670頃		加賀藩が加越飛境にて実地調査を行う
1821	文政4	測量家の石黒信由、白山の詳細な測量を行う
1833	天保4	発明家の大野弁吉、白山登山2回目で白山レリーフマップを作成したと伝わる
1872	明治5	廃藩置県 <small>はいはんちけん</small> の後に白山は石川県の帰属となる
1873	明治6	女性が初めて白山登山
1874	明治7	ドイツ人ライン博士が白山登山、その帰途能美郡嶋村 <small>の み ぐんしまむら</small> （現在の白山市桑島 <small>くわじま</small> ）から植物化石を持ち帰る
1893	明治26	白山山頂が一等三角点に選定される
1955	昭和30	白山国定公園に指定される
1962	昭和37	白山国立公園に昇格となる
1967	昭和42	室堂平に室堂センター <small>しやんこう</small> 竣工
1981	昭和56	ユネスコの生物圏保存地域 <small>けん</small> に指定される
1986	昭和61	白山市（旧白峰村）桑島化石壁で肉食恐竜の歯の化石発見と報道される
2002	平成14	白山室堂ビジターセンターがリニューアルオープン
2009	平成21	雷鳥が再確認される
2012	平成24	白山雷鳥荘オープン

●「日本の三名山」と「日本百名山」

717年(養老元)、越前の僧、泰澄によって開かれたと伝えられる白山。白山と名のつく神社は日本各地で3,000社に及びます。江戸時代には俳人や画家、植物学者など、さまざまな人が白山に登るようになり、このころから富士山、立山とともに「日本の三名山」と呼ばれるようになりました。また、登山者に人気の『日本百名山』の著者、加賀市出身ふかたの深田久弥きゅうやは、同書のなかで「ふるさとの山」として白山を紹介しています。

ふんか 白山はまた噴火するのだろうか？



山頂には翠ヶ池などの火口湖が見られ、白山が比較的新しい火山であることが分かります。

白山が火山活動を開始したのは、今から30～40万年前のことで、当時は尾添尾根の加賀室跡付近を中心に噴火していたと考えられています。その後、およそ10～14万年前に活動場所をおおなんじがみねの地獄谷へと移動し、このころは現在の白山よりも標高が高く、ゆうに3,000mを超えていたと推定されます。これらの古い時代に形成された火山は浸食でほぼ消滅し、今日では見るできません。

現在の山頂部が噴火を始めたのは、今からおよそ3～4万年前のこと。白山の最後の噴火は1659年(万治2)です。これまでの調査で、過去約3000年の間、平均するとおよそ430年に一度の割合で火山活動があったとされています。白山は将来において火山活動を再開する可能性をひめた山ですが、現在のところ噴火を予測させるような観測データは確認されていません。



山頂部の火口湖

山頂部には、翠ヶ池、千蛇ヶ池など大小7つの湖がありますが、そのほとんどが火山活動で穴が開き、水がたまった火口湖です。現在の山頂部は今から約1万1千年の間に少なくとも16回の噴火があったといわれており、なかでも一番大きい火口湖である翠ヶ池は、1042年（長久3）の噴火でできたとの記録が残されています。

火口湖のひとつの千蛇ヶ池には、泰澄大師が麓の人々に危害を与えていた千匹の毒蛇をこの池のなかに封じ込め、蛇が出ないようにと雪でフタ

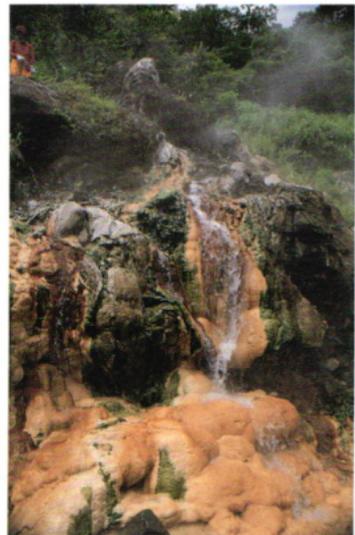
をし、もし雪が解けて蛇が出るようなことになれば、池の上に岩が落ち、再び蛇が閉じ込められるようにしたという伝説が残っています。今も池を見おろすようにそびえる「御宝庫」がその岩だといわれています。



御宝庫と千蛇ヶ池

岩間の噴泉塔群

白山市尾添の岩間温泉から山道を進むと、突起物の上部から熱湯が噴き出す景観と出会います。これが国の特別天然記念物の「岩間の噴泉塔群」です。湯に含まれる石灰質分が長年にわたって塔状に形成されたもので、高さが1～2mになることもあります。山のエネルギーを実感できる岩間の噴泉塔群は、白山が今も生きていることを教えてくれます。



岩間の噴泉塔群

白山に「お花畑」があるってホント？



白山といえば、「花」といわれるくらい、高山植物の宝庫として知られ、花好きな登山者にとって人気の山です。その理由は、「ハクサン」と名の付く植物が多くあり、あちこちに美しい「お花畑」が見られるからです。

「お花畑」といっても栽培されているわけではなく、同じ種類さいばいや同じ環境かんきょうに生育する植物がかたまって生え、それらが一斉いっせいに開花するため、そう呼ばれるようになったのです。

白山は、乾燥する岩場や岩くずの荒原かんそう、雪解け水こうげんに潤される斜面うるおや湿地しゃめんなど、多様な植物の生育環境しつちに恵まれ、また多量の積雪があることから、標高が低い割に数多くの高山植物が群生しています。

厳しい環境きびに生きる高山植物は強いと思われがちですが、実際は環境の変化や踏みつけふに弱いのです。

また、近年、オオバコなどの平地の雑草が増えています。登山者の靴くつなどに種たねがついて広がったと考えられ、高山植物への影響えいきょうが心配されています。

「花の名山」である白山の自然をみんなで守りましょう。



ハクサンの名がつく植物

白山には江戸時代から多くの本草学者(植物学者)が調査研究に訪れ、新たに発見された高山植物に名前を付けたため、和名に「ハクサン」の名がつくものがたくさんあります。日本植物目録(環境庁編)では、ハクサンチドリ、ハクサンコザクラ、ハクサンフウロ、ハクサンシャクナゲ、ハクサンイチゲなど18種、この他、御前峰ごぜんがみねにちなんだゴゼンタチバナといたったものもあり、山の名前を冠した高山植物の名前の数では日本一の多さを誇っています。

白山の高山植物は西の端

日本では白山より西に標高2,000mを超える山がないため、白山は高山帯と呼ぶ植生帯を有する山としては西の端はしに位置しています。そのため、白山を分布の西限、または南限とするハイマツやクロユリ、ハクサンコザクラなどの高山植物が100種類以上もあり、その多くは地球温暖化によって絶滅する可能性があるのです。

白山の高山植物の特徴

白山には約250種類の高山植物が生育しています。近隣の立山しろうまだけや白馬岳などの山々に比べると、種類数はやや少なく、白山固有の植物は現存しませんが、高山帯の面積が狭い割に、クロユリやハクサンコザクラなどは個体数が多く、見事なお花畑が見られます。花の咲く時期は種類や年、場所によって異なるものの、見ごろは7月中旬から8月中旬です。



白山の植物



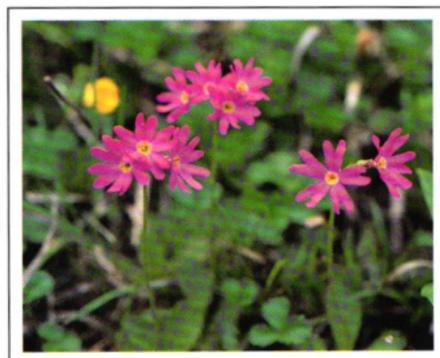
●クロユリ

ユリ科。高さ10～25cm。
花の長さは約3cmで、通常1～3個。石川県の郷土の花。
7月上旬～8月上旬。高山帯の草地。



●ハクサンイチゲ

キンポウゲ科。高さ20～50cm。径2～3cmの花が茎くきの上部に数個つく。白い花びらのように見えるのはガク片。7月中旬～8月上旬、高山帯の草地。



●ハクサンコザクラ

サクラソウ科。高さ5～15cm。径2cmの花が茎の頂部に数個つく。7月中旬～8月上旬。高山帯の湿しめった草地、湿しつち地。



●ハクサンシャクナゲ

ツツジ科。高さ0.5～2mの常緑低木。花は漏斗じょうご型で径約3cm、先は5裂する。6月中旬～7月中旬。亜高山～高山帯の尾根や林縁。



●ハクサンチドリ

ラン科。高さ15～30cm。
先がとがった長さ1.5cmの
花が数個～十数個集まって
つく。7月上旬～8月上旬。亜
高山～高山帯の草地。



●ハクサントリカブト

キンポウゲ科。高さ0.5～
1m。花は長さ約3cmで、上1
枚、両側・下側各2枚のガク
片がおしべやめしべを包む。
8月上～中旬。亜高山～高山
帯の草地。有毒。



●ハクサンフウロ

フウロソウ科。高さ30～
60cm。花の径約3cm。花弁
に紅紫色の筋がある。7月中
旬こうし～8月中旬。亜高山～高山
帯の草地。



●イワカガミ

イワウメ科。高さ約10cm
の花茎の先端に長さ約1.5cm
の釣鐘型つりがねの花が数個着く。7
月中旬～8月上旬。山地～高
山帯されきちの砂礫地や草地。

白山の植物



●イワギキョウ

キキョウ科。高さ5～10cm。花は長さ約3cmの釣鐘型で先は5裂する。7月下旬～8月中旬。高山帯の砂礫地。



●コバイケイソウ

ユリ科。高さ0.5～1m。径約1.5cmの花が穂状に着く。花は一斉に咲く年からほとんど咲かない年まで差がある。7月中旬～8月上旬。亜高山～高山帯の草地。有毒。



●チングルマ

バラ科。高さ5～10cmの落葉低木。花の径約2cm。花弁は5枚。葉は2～5対の小葉からなる。7月上旬～8月上旬。高山帯の砂礫地や草地。



●ニッコウキスゲ

ユリ科。高さ60～80cm。花は長さ、径ともに6～8cm。1本の花茎に2～5花を順に開く。7月上旬～8月中旬。山地～亜高山帯の草地。



●ミヤマキンバイ

バラ科。高さ7～15cm。
花の径約2cm。花弁は5枚。
葉は3つの小葉からなる。
7月中旬～8月中旬。高山帯
の砂礫地。



●ミヤマキンポウゲ

キンポウゲ科。高さ20～
50cm。花の径約2cm。花弁
に光沢がある。7月中旬～8
月上旬。亜高山～高山帯の
草地。

●ボランティアによる外来植物の除去作業

白山には高山植物のハクサンオオバコ（オオバコ科）が生育していますが、近縁の低地に生えるオオバコが侵入し、分布を広げています。外来植物（低地から侵入の植物も含む）は、もともと白山に自生していた植物と雑種を作ってしまったり、景観を損ねる恐れがあることから、ボランティアによる外来植物の除去作業が、2004年（平成16）から行われています。

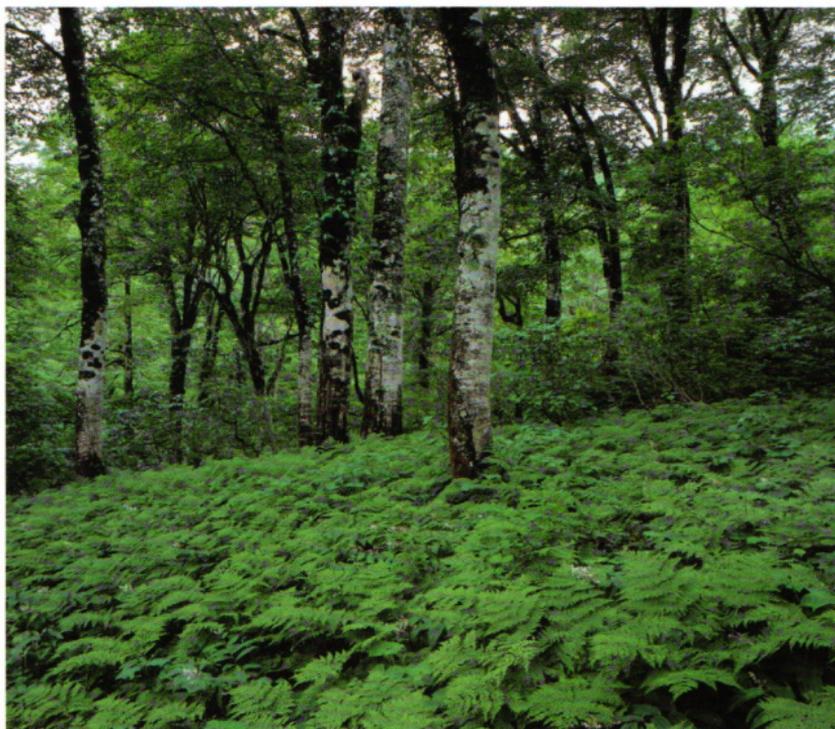


ハクサンオオバコ



南竜ヶ馬場における外来植物除去作業の様子

白山が日本有数の ”野生動物の高密度生息地帯” って知っていますか？



白山は標高1,600m以下に分布するブナ林から、^あ亜高山帯(1,600～2,400m)のダケカンバ林・オオシラビソ林、高山帯(2,400m以上)にはハイマツ林や高山草原が分布。標高差と変化に富んだ地形を反映し、たいへん豊かな自然環境^{がんきょう}が保たれています。

白山の自然を表す言葉として「樹海美^{じゅかいび}」があります。樹海美とは白山に今もなお広く残されたブナの原生林を指し、そこに生息する動物の種類が多いことは全国的にもよく知られています。ブナ林は雪崩防止^{なだれ}や土砂流出防止^{どしゃ}の役目を果たし、自然のダムとなって雪解け水や雨水^{たくわ}を蓄え、やがて大地^{うるお}を潤すとともに、その新芽や花や実はブナ林に生息する生き物たちの食べ物となります。



野生動物の宝庫

白山は地形が険しい上、冬季にはその積雪によって、人間が簡単に近付ける場所ではありません。こうしたことから、白山には広範囲こうはんいにわたって自然のままの森林が残り、ニホンカモシカ(特別天然記念物)、ツキノワグマ、ニホンザル、イヌワシ(天然記念物)、クマタカなどの野生動物にとって良好な生息環境となっています。全国的に見ても、ひととき高密度で野生動物が生息する白山は「野生動物の宝庫」でもあるのです。

白山のほ乳類

白山に生息するほ乳類は、亜高山帯、高山帯で見られるオコシヨをはじめ46種を数えます。すべての動物は長い冬をたくましく生きているものばかりです。冬季間、一面の銀世界となる亜高山地帯以上には、夏になるとニホンカモシカやキツネなども食べ物を求めて登山してきます。ちなみにオコシヨ、アズミトガリネズミの生息地として白山は日本の分布の西限にあたります。

白山の鳥類

野鳥では石川県の県鳥イヌワシをはじめ約130種が知られています。高山の鳥といえばライチョウとイワヒバリですが、後鳥羽上皇とばじょうこうが「白山の松の木蔭しらやまにかくろひてやすらにすめるらいの鳥かな」と詠んだライチョウこかげは、白山では昭和初期を最後に見られなくなってしまいました。2009年(平成21)におよそ60年ぶりに雌1羽の生息が確認されました。一方、イワヒバリは山頂付近の岩場を中心に生息し、間近に見ることができます。イワヒバリも白山より西には分布しません。その他、カヤクグリ、ホシガラス、ウソなどが山頂部のハイマツ林やお花畑で見ることができます。



白山の高山帯で見られる動物



●オコジョ

イタチ科。体重約100gの小型の肉食獣。冬には尾の先端の黒以外は全身真っ白になる。山頂部や雪渓近くの岩場から顔を見せることがあり、登山者の人気者。



●イワヒバリ

イワヒバリ科。体はスズメより大きく、翼に白い2本の線が特徴。白山は繁殖分布の西限にあたる。



●ベニヒカゲ

ジャノメチョウ科。モンシロチョウより少し小さい。白山では亜高山帯・高山帯の草地に生息する。白山が分布の西限にあたる。



●アズミトガリネズミ

トガリネズミ科。落葉下の腐植層で生活し、地表にいる昆虫類やクモ類を捕食する。モグラ目に分類されるが、モグラのように穴を掘ることはない。



●ホシガラス

カラス科。全身が褐色で、^{かつ}白いはん点がたくさんある。高山帯のハイマツ林やブナ帯に生息している。



●メボソムシクイ

ウグイス科。「ジュリ、ジュリ」というさえずりが「銭取り銭取り」と聞こえるともいわれている。



●ハクサンクロナガオサムシ

オサムシ科。亜高山帯から高山帯に生息している。成虫は夜間、地表で活動し、小動物やその死がいを食べる。



●アキアカネ

トンボ科。代表的なアカトンボの一種。暑さに弱いため、夏の間、白山などの山岳^{さんかく}地帯で過ごし、秋になると平野へ降り、産卵を行う。

頂上に登って実感する感動！



白山にはさまざまな魅力みりょくがありますが、なかでも最大の魅力は自分の足で頂上にたどり着いた時に味わう感動でしょう。目の前に広がる山並み、夜になると満天の星空には美しい天の川かがやが輝き、人工衛星が移動していく様子が肉眼でもはっきりと見ることができます。こうした感動を味わうと白山を登ってきた疲れや苦労も吹き飛んでしまうはずです。

さらに白山の頂上ではもう一つ、神秘的な現象を体験できるかもしれません。それが「ブロッケン現象」です。

ブロッケン現象とは太陽を背にして立った時、自分の影が前方かげの霧きり きょだいに巨大に映り、その周囲に色のついた光輪が見える光学現象です。ドイツのブロッケン山でよく発生したことから、この名称めいしょうが付けられましたが、白山山頂でもブロッケン現象がしばしば見られます。

山頂で見る朝日を「ご来らい光こう しらやまひ め」（白山比咩神社では「お日の出」）といい、白山の夜が明ける時、ひとげんしやくときわふんい き厳粛な霧ふんい き田き気に包まれます。



ブロッケン現象



標高と気温変化

夏でも高い山が涼しいのは、標高が高くなるにつれて気温が低くなるためです。ちなみに計算上では、標高が100m高くなるごとに気温が約0.6℃低下するので、2,702mの白山山頂では、平地の気温より16℃近く低いことになります。とはいえ、あくまでも計算上のこと。太陽の照り具合や風の強さなどの影響^{えいきょう}もあり、体感温度は必ずしもそうとはいええないようです。

むろどう すず ひかく
白山室堂と金沢の気温比較 (2013年7月、8月の平均)

℃	最高気温	最低気温	9時の気温	15時の気温
室堂 (標高2,450m)	16.4	9.9	13.5	14.5
金沢 (標高5.7m)	31.6	24.4	28.5	29.8
室堂と金沢の差	15.2	14.5	15.0	15.3

資料提供 / (一財)日本気象協会北陸支店(室堂の気温)・金沢地方気象台(金沢の気温)

標高と気圧変化

地球をとりまく大気の重さによって生じる圧力を気圧といい、上空に行くほど気圧は低くなります。つまり標高が高いところでは、ものにかかる圧力が減るので、たとえばスナック菓子の袋などは周囲から押される力が減り、パンパンに膨らみます。

携^{けいたい}帯用の簡易測定器で気圧を測ってみたところ、別当出合^{※1} (標高1,260m)で858hPa、室堂^{※2} (標高2,450m)で758hPaでした。ちなみに同日の金沢地方気象台発表による金沢の気圧は1004.5hPa前後でした。

※1 2004年7月31日、登山中に携帯用測定器にて計測

※2 気圧の単位hPa(ヘクトパスカル)



室堂(標高2,450m)で撮影

標高と酸素濃度

標高の高いところでは、空気中の酸素の割合は平地とは変わらないものの、気圧が低い^{うす}ため空気自体が薄く、体内に摂取される酸素の絶対量が減少します。酸素が希薄^{せっしゆ}な高い山に登るコツは、次第に薄まっていく空気に体を順応させながら、ゆっくり登ることです。

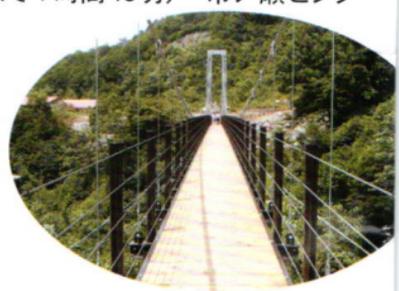
白山登山にチャレンジ！まずはこのコースで登ってみよう



べっとうであい さぼうしんどう なんりゅうどうぶん き くら いわ むらどうたいら
 別当出合(砂防新道)→南竜道分岐→黒ポコ岩→室堂平(白山室堂で泊)
 南竜道分岐→別当出合
 金沢からのアクセスはJR金沢駅→(バスで1時間45分)→市ノ瀬ビジター



別当出合登山口。ここから砂防新道の標識に従って登山開始!



平成16年7月に新しく造られた別当出合吊橋。延長117m、幅1.2m、標高1,260m



エコラインから眺める御前峰



御前峰から見る大汝峰



お日の出(ご来光)に向かって万歳する登山客

→御前峰→室堂平→エコーライン→

センター→(バスで25分)→別当出合



基之助避難小屋(標高1,960m)から見る別山(2,399m)の眺め



白山火山から噴出した火山弾「黒ボコ岩」



しらやま ひ め
■白山比咩神社

<http://www.shirayama.or.jp/>
白山の歴史や白山信仰のことがよくわかります。

しらやま
「白山さん」として多くの人々から親しみをもって呼ばれる白山比咩神社
(白山市三宮町二105-1)



宿泊先を予約しよう

※宿泊は予約制となっていますのであらかじめ電話での申込が必要です。

むらどろ
●白山室堂ビジターセンター・白山雷鳥荘

白山室堂 ☎ (0761) 21-9933 (7月～9月)

問合せ・予約 ☎ (076) 273-1001 <白山室堂予約センター>

■収容人数 / 白山室堂ビジターセンター 750名、白山雷鳥荘 21名

■営業期間 / 白山室堂 5月1日～10

月15日、5月1日～6月29日は自炊のみですが、6月30日宿泊からは食事が付きます(要予約・自炊可)。

白山雷鳥荘 6月30日～10月15日



■郵便局・簡易診療所 (医師不在の場合あり) 開設期間: 7月～8月

■公衆電話の開設期間: 7月～9月

みなみりゅうがばんば
●南竜ヶ馬場ビジターセンター

白山南竜山荘・南竜ヶ馬場ケビン ☎ (0776) 54-4526 (7月～9月)

予約 ☎ (076) 259-2022 <南竜山荘予約センター>

■収容人数 / 南竜山荘 150名・南竜ヶ馬場ケビン 5名 10室

■営業期間 / 7月1日～10月15日

南竜山荘は食事付き(要予約・自炊可)で、電話もあります。ケビンは定員5名1室で2名以上で利用できます。南竜ヶ馬場はキャン



プ指定地になっており、テントサイト、炊事舎があり、7月～9月は毛布の貸出も行っています。